

(窯業系サイディング、意匠性サイディング等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)
1.素地調整	①素地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高压洗浄等で取り除いて下さい。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理して下さい。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥吹付面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。						
2.下塗り ※右記 いずれか	マルチ浸透シール 無希釈	15kg	0.1~0.2 (kg/m <sup>2</sup> /回)	75~150m <sup>2</sup>	刷毛 中毛ローラー、 エアレススプレー	1回	4時間以上
	クオリティサーフ 清水	15kg 0.3~1.0ℓ	0.18~0.3 (kg/m <sup>2</sup> /回)	50~83m <sup>2</sup>	刷毛 中毛ローラー	1回	3以上
3.中塗り	セラベース	16kg	0.1~0.15 (kg/m <sup>2</sup> )	106~160m <sup>2</sup>	刷毛 ローラー	1回	5時間以上
	清水	0~1.6ℓ			エアレス		
4.上塗り	タテイルフロンの 主剤	15kg	0.1~0.15 (kg/m <sup>2</sup> )	106~160m <sup>2</sup>	刷毛	1回	—
	硬化剤	1kg			ローラー		
	清水	0~0.8ℓ			エアレス		

### ●マルチ浸透シール

(1液水性浸透形カチオンプライマー)

■荷姿  
15kg缶

■施工用具  
刷毛  
ローラー  
エアレス

■適用基材

コンクリート・モルタル・GRC板・ケイカル板・一般外壁・サイディング  
ボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・等

### ●クオリティサーフ

(1液水性形特殊シリコン樹脂サーフェーサー)

■荷姿  
15kg缶

■施工用具  
刷毛  
ローラー

■適用基材

コンクリート・モルタル・一般外壁・サイディングボード・  
吹付タイル・スタッコ・リシン

### ●セラベース

(水性1液形水性無機塗料用中塗りコート)

■荷姿  
16kg/缶

### ●タテイルフロンの

(水性2液フッ素ハイブリッド形無機塗料)

■荷姿

16kgセット 主剤:15kg  
硬化剤:1kg

■可使時間

5時間以内(23℃)



## 注意事項

- マルチ浸透シールはカチオン系塗料ですので、希釈できないうえ、他種塗料との混合も出来ません。
- マルチ浸透シールを塗布後は十分に乾燥させてから、次の工程に入して下さい。
- クオリティサーフは高粘度製品ですが、仕様上の希釈率を超えて使用すると隠ぺい性の低下や密着不良となる可能性がありますので、規定の仕様を守ってご使用ください。
- タテイルフロンの、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。またタテイルフロンの水性塗料のため、攪拌初期は硬化剤が水となじみにくいで手動で軽く攪拌しただけでは混合不良となる場合があります。
- マルチ浸透シールとタテイルフロンの混合するとゲル化しますので容器・刷毛・ローラー等の共用は避けて下さい。
- タテイルフロンの、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- タテイルフロンの超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。
- シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染・ひび割れ・剥離などの不具合が発生する恐れがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を十分確認の上、施工して下さい。
- 素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高压洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- 塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様になり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- 希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- エアレスでの施工は飛散により周囲を汚しトラブルの原因になります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- 常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- 施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- 夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- 塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- 塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- 材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防護マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- 塗装後は、水洗い及びうがいを充分に行なって下さい。
- 塗装中・塗装後は充分換気を行って下さい。
- 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- 臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。